

第16次第3回苫小牧市廃棄物減量等推進審議会 会議録（概要版）

日時：令和8年7月21日（火）午後4時～午後4時30分

場所：苫小牧市役所本庁舎9階議会大会議室

出席者：委員14名

環境衛生部長、ゼロごみ推進室長、廃棄物処理課長、廃棄物処理課長補佐、
ゼロごみ推進課長、ゼロごみ推進課長補佐、その他事務局3名

1 開会

2 報告

（1）苫小牧市のごみ排出状況の推移について

事務局より資料1について説明。

以下、質疑応答。

<委員A>

2点お尋ねします。1つは「組成分析」とは具体的にどのような方法で行うものなの
でしょうか。もう1つは、プラスチックごみは別途「プラごみ」として回収されていま
すが、それはリサイクル率に反映され、実際にリサイクルされているのでしょうか。

<事務局>

1つ目の組成分析ですが、特定の日に特定の地域のごみステーションから出された家
庭ごみを袋ごと回収し、建物内で品目ごとに振り分けて、その重量の割合を調査するも
のです。令和6年度までは年5回でしたが、令和7年度からは年11回に増やして精度
を高めています。

2つ目のプラスチックについてですが、分別して出されたものは国のルートに則って
再資源化され、プラスチック製品などに再利用されています。しかし、燃やせるごみに
混ざってしまうとそのまま焼却されCO2を排出してしまいます。そのため、正しい分別
を市民の方々に働きかけていくことが重要だと考えております。

<委員A>

集めたプラスチックごみは、指定の業者に渡した後は市は関与していないというこ
とですか。

<事務局>

基本的には中間処理業者に引き渡し、そこで異物などを取り除いた上で再資源化事業者に引き渡されます。市が直接関与しない形ではありますが、年に2回ほど市の立ち会いのもと、「日本容器包装リサイクル協会」が行う品質調査を受け、正しく処理されているかを確認しております。

<委員B>

食品ロスの割合についてですが、令和7年度で8.1%、令和11年度の目標が8.0%以下となっています。令和5年から7年までの減少幅と比較して、令和11年までの4年間でわずか0.1%の削減というのは、目標値として非常に低く感じるのですが、何か理由があるのでしょうか。その後の計画では5年で1.5%ずつ削減する想定のようなのですが。

<事務局>

ご指摘の通り、令和21年度までに食品ロスを半減させる計画で、現時点での進捗は8.1%と非常に順調です。令和11年度までの目標値との差がわずかであることは認識しておりますが、本計画は5年ごとに見直しを行います。令和9年度頃までの進捗を見て、必要に応じて目標値の修正などを検討したいと考えております。

(2) 環境学習交流施設について

事務局より資料2について説明。

以下、質疑応答。

<委員A>

新規事業の「エコるマイスター事業」について具体的に教えてください。

<事務局>

ごみ減量だけでなく、自然環境やゼロカーボンに関する活動に取り組んだ市民にポイントを付与する事業です。ポイントが貯まるとランクアップし、最終的には「エコるマイスター」として認定する仕組みです。

<委員C>

再生利用家具の展示販売や、洋服等の交換事業の活用方法について、高齢者支援の中で、施設入所などに伴い不要になった状態の良い洋服等を寄付したいという相談が多いのですが、そういった際の相談や、職員による代行持ち込みは可能でしょうか。

＜事務局＞

家具については大型ごみとして排出されたものが対象となっているため、持ち込みはできません。洋服については、「ばくりっこ」は基本的には交換事業なので、交換していただくことにはなるんですが、受け取りだけでも行えますので、もしそういった場合があれば一度ご相談いただければと思います。

3 その他

事務局より、以下を報告。

- ・環境関連計画の体系整理について
- ・環境関連審議会の体系整理について

4 閉会

事務局より、下記のとおり事務連絡。

- ・松崎委員より周知依頼のあった「フードバンクとまこまい報告会」の案内
- ・次回の審議会は10月頃開催予定